

粗悪なものをどう排除するか

毎日新聞の小島正美

2015年7月18日

SFSS

合意できる点

- ①前進＝機能性表示食品制度で、以前は何も分からなかった、いわゆる健康食品の広告的な表現に代わり、一定の機能性が表示で分かり、判断材料が増えた。おそらくかなり合意。
- ②一定の科学的な根拠のあるものが機能性表示食品のため、深く考えることなく、選べるようになった。「いわゆる健康食品」よりは、ましであり、機能性表示食品なら、安心できる。これもおそらく合意多い。

健康食品とメディア情報に共通 するものは何か

その「情報」で消費者は買う
健康食品は情報を売る商売
情報は市場の商品として流通

どうやって粗悪品を排除するか

■あなたの子供がクラスメートから殴られたと知ったら、どうするか→おそらくアクションを

■あなたの子供がクラスメートから、言葉の暴力(おまえはアホだ、汚い)を受けたら、どうするか→そんなヤツは放っておけ。それくらいで負けてはいけないと諭す？

◎いじめには「物理的暴力」と「言葉(情報)の暴力」あり。どちらも心は傷つくはず。情報だから、許すというのは間違い！

では、あなたの会社がいじめ？

■では、あなたの会社が「〇〇製パンは添加物のせいでカビない。怖い」といわれたら。

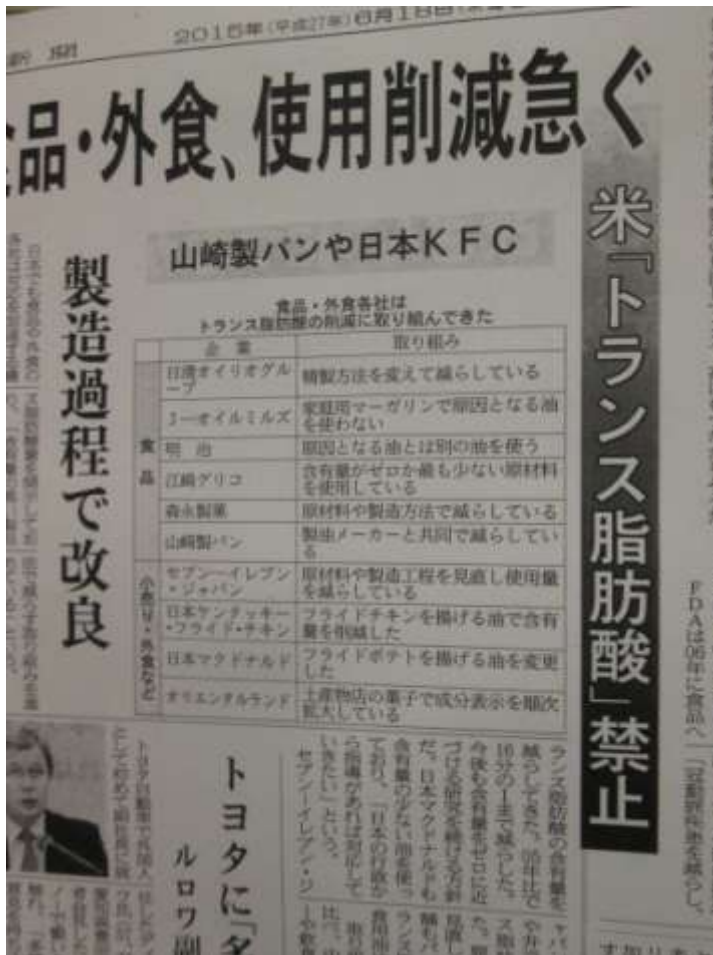
■あなたの会社の製品で「マーガリンは恐怖の物質を含む。食べない方がよい」といわれたら

■あなたの会社が「ミツバチを大量に殺す農薬を作っている。怖い」といわれたら。

■あなたの会社のサプリが「科学的根拠は最低のEランク。買わない方がよい」といわれたら

。

トランス脂肪酸禁止？



◎米国FDAが発表したのは「GRASからはずす」。なぜか、記事では食品添加物のトランス脂肪酸が全面禁止となったとある。時事通信、共同通信も同じ内容。

◎2018年から食品添加物の扱いになる、が正解

週刊文春(7月9日号)



◎植物油よりも動物油が安全。本当か。

◎ラットにバター、ラード、マーガリンを与え、マーガリンは寿命短い=ひとつの実験。トランスは体内で代謝される。乳製品にもバターにも含まれる。

◎少数派学者が登場

善悪二元論のリスク



- ◎世の中に良い油と悪い油がある。よい油を摂取し、悪い油を避ける。これがマスコミ受けのリスク論
- ◎私の知り合いが毎日エゴマ油を飲んでいた。
- ◎特定の油がよいと信じる一種の精神の病か？

私の記事



◎全面禁止でない。禁止は水素添加油(硬化油)。GRASの対象でなくなる。つまり、食品添加物扱いへ◎日本人は0.3%。規制の必要性は低い。油の過剰摂取がよくない。

◎各種文献をメタ解析した食品安全委員会の見解を重視

トランスをどう見るか

- ①新聞、テレビ、週刊誌、どれを信じるか
 - ②新聞、テレビ、週刊誌の、どの媒体の記者を信じるか
 - ③新聞、テレビ、週刊誌の、どの専門家を信じるか
- サプりは、新聞、テレビ、雑誌、企業の情報（広告も含む）が加わる。企業情報にも専門家がいる。どれを、だれを信じるか？

信じる要素とは

- ◎週刊誌の記者と新聞記者、どっちが誠実か。どちらが正確に伝えようとしているのか。
 - ◎何を目的にその情報を伝えようとしているか
 - ◎サブリを売る目的は何か。売り上げか国民の健康のためか。
 - ◎専門家は何のために研究しているのか。業績のためか、企業とのつながり(利害)のためか。
- だれでも利害(立場)によって左右される

メディア、企業への対応

◎記者へすぐに「カウンター情報」を伝える。記事が出た直後、おそくても3日以内がよい。食安委は日経の記事の当日、登録記者に「これは間違い」と一斉メール。

◎週刊誌は「個別の記事には対応しない」。反論を受け付けない粗悪媒体は、「つぶせ？」となるか。不買しかないか！ 市場メカニズムを生かす。

■有志で「メディアのメディア」をつくる

解決策は何か？

第三者が即座にカウンター情報を
認知バイアスの修正は即座の正しい
情報提供で修正される実験あり

紅茶キノコまたブーム？



市民の共感があれば販売可能



◎なぜ、著者、編集部は非科学的な話を載せたか

①たとえ少数派、異端派の説でも、販売する自由はある。

②市民の反原発の価値観に合っているから。

③過去にもGM作物、添加物で全く同じことを連載

■“粗悪”なものも販売

「美味しんぼ」よりひどい



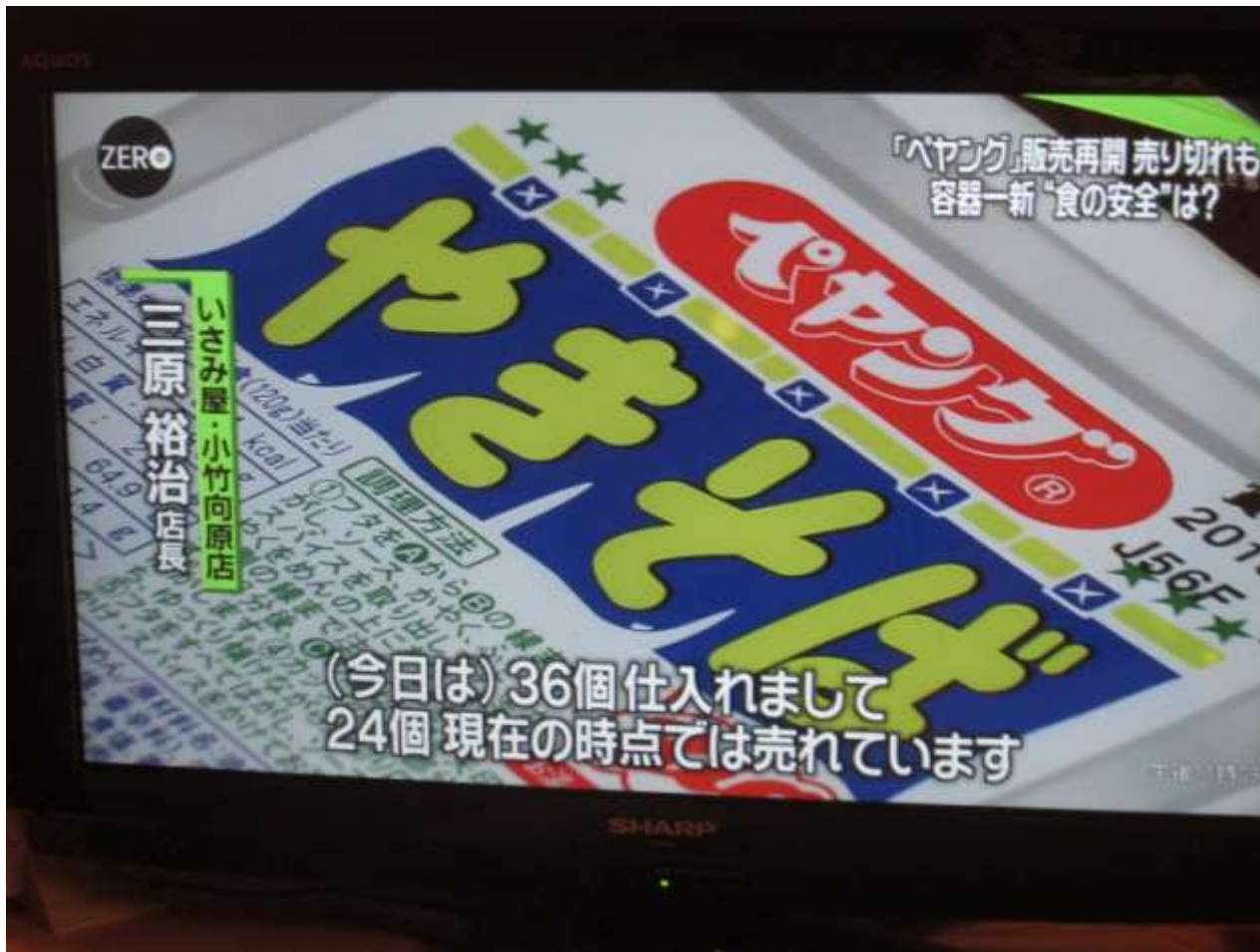
◎2011年12月2日の朝日新聞。「町田市の子供、が鼻血を。4ヵ月で10回。広島と同じ症状」

◎なぜ、記者は書くのか

◎科学性、正確性を重視していない

◎科学よりも、市民感情、自分に合う価値観の市民を重視

ゴキブリ1匹で世界初の珍事？



テレビは食の安全問題？



どんなアクションがよいか

他人に感情が伝わるやり方がよい

記者・消費者セミナーもよいが、ニュースになりやすい手段がよいのでは

サプリで遺伝子の悪影響を除く？

トータル plus FINC
満口 勇児 社長

FINCのモバイルヘルスを解剖!
オーダーメイドのダイエット指導

ダイエット家庭教師

開始前 遺伝子検査・血液検査・生活習慣アンケート

60日間 栄養士・トレーナーが食事・運動を指導

金額 19万8000円～(税抜) ※返金保証あり

消費者向けセミナーも必要

◎健康食品の賢い利用法はあるのか

◎薬でも、権威ある医師から「効かない」と言われたら、効果は半減する。効かない健康食品でも「信じて」利用すれば、効果あるかも。ホメオパシーなど民間療法が生き残るのは、信じる効果があるから。粗悪品でも「治った」という情報は生き残る。

■機能性表示食品を選ぶだけでは健康にならず。本当の意味の健康教育が重要